

在ムンバイ日本国総領事館海外安全対策情報  
平成27年度第1四半期（平成27年4月～6月）

1. 治安情勢

(1) グジャラート州沖で麻薬密輸船を拿捕

インド海軍と同沿岸警備隊は4月18日、グジャラート州沖で大量のヘロインを積んだ密輸船を拿捕した。乗員8人のうち6人がパキスタン国籍であり船から232kg、60億ルピー相当のヘロインが発見された。

(2) 39年間逃亡中のマオイストリーダーを逮捕

マハーラーシュトラ州対テロリズム部隊(ATS)は5月9日、プネ市に潜伏していた60代のマオイスト幹部を逮捕した。同幹部は1976年にケララ州の警察署襲撃事件の容疑者の1人で、逮捕後保釈されそのまま失踪し、近年はプネ周辺で活動していた。

(3) デリー出身の女性2人がゴアで強姦被害

6月1日、デリー出身の女性2人がゴア・Anjuna Beach付近をタクシーで旅行中、男5人に呼び止められた。男らは薬物対策捜査官を騙り、女性を犯行場所まで連れて行き強姦した。

(4) 粗悪な密造酒で104人が死亡

粗悪な密造酒を飲んだムンバイ市Malwani地区の住人らが6月中旬から下旬にかけ相次いで病院に搬送され、死者104人、50人以上が入院する事態となった。現場は低所得の肉体労働者が多く居住する地域で、警察は密造酒製造取り締まりに対する職務怠慢があったとして警察官8人を停職とした。

(5) プネで放火により車・バイク92台が焼失

6月28日、プネ市Shinagad Road所在の住宅、商業ビル周辺で何者かが駐車車両に火をつけた。この放火により車両・バイク計92台が焼失した。警察は防犯カメラに映っていた不審な男を捜査中である。

(6) 期間中のマオイストによる襲撃事件

4月11日から13日の間、チャッティースガル州Dantewada県でマオイストの襲撃事件が4件発生し、治安部隊の兵士計13人が死亡

5月9日、チャッティースガル州Sukuma県で村民300人が地域の橋の建設に反対するマオイストの人質となる事件が発生。同州を訪問中のナレンドラ・モディ首相はマオイスト勢力に対し即時解放を訴えた。村民1人が殺害されたが、同日夜にマオイストは村民を解放した。

2. 一般犯罪情勢

(1) 邦人被害事案

4月下旬、ムンバイ市郊外で食事のため駐車していた車両の窓ガラスが何者かに割られ、車内に置いてあった鞆(旅券、現金、携帯電話在中)が奪われた。

(2) 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

ア 殺人

邦人被害の事件は認知していない。

イ 強盗

邦人被害の事件は認知していない。

ウ 強姦

邦人被害の事件は認知していない。

3. テロ・爆弾事件発生状況  
期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況  
期間中、誘拐・脅迫事件の発生はなかった。

5. 対日感情  
良好である。

6. 犯罪統計  
ムンバイ市警察本部統計による2014/2015年1月1日～6月21日の犯罪認知件数は以下のとおり。

期間／罪種	2015年 1月1日～6月21日	2014年 1月1日～6月21日
殺人	73	86
強盗	341	351
強姦	325	281
傷害	2,163	2,019
窃盗	3,115	3,015
住宅侵入盗（昼間）	220	242
住宅侵入盗（夜間）	1,233	1,220